

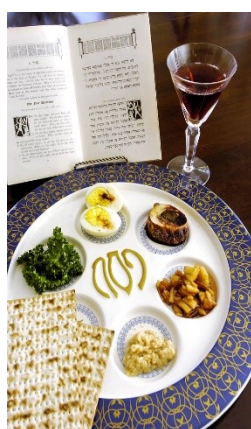
エターナル・ラブ・イスラエル☆ニュースレター 2号☆



- 事務局：〒226-0027 横浜市緑区長津田 7-17-16-503 TEL:090-8729-0856
 - ホームページ：https://eternalloveisrael.amebaownd.com
 - メール：eternalloveisrael@gmail.com
 - 銀行口座：三菱東京 UFJ 銀行 武蔵新城駅前支店
普通預金 0909009 エターナル・ラブ・イスラエル
 - 郵便振り込み：00200-9-79214 エターナル・ラブ・イスラエル
- 代表：宮本 純子

☆ 過越しの祭りについて ☆

宮本 純子



主イエス様の復活祭であるイースターと過越しの祭りが重なる4月1日にイスラエルのメシアニック・ジューのリーダーであるハナン・ルカス先生をお招きしてエターナル・ラブ・イスラエルの決起集会を開催できますことを神様に心から感謝致します！

過越しの祭りは、ユダヤの三大祭りの一つであり、非常に重要なお祭りです。イエスさまの「最後の晩餐」は、過越しの祭りの食事だったのをご存知でしょうか。

マタイ 26：17～19「さて、種なしパンの祝いの第一日に、弟子たちがイエスのところに来て言った。「過越しの食事をなさるのに、私たちはどこで用意をしましょうか。」イエスは言われた。「都に入って、これこれの人のところに行って、『先生が「わたしの時が近づいた。わたしの弟子たちといっしょに、あなたのところで過越しを守ろう」と言っておられる』と言いなさい。」そこで、弟子たちはイエスに言いつけられたとおりにして、過越しの食事の用意をした。」

イエスさまも過越しの祭りをお祝いしていました。そして、過越しの祭りの時に十字架にかかり尊い血を流してくださったのです。

出エジプト記 12章 15節 「あなたがたは七日間種を入れないパンを食べなければならない。その第一日目に、あなたがたの家から確かにパン種を取り除かなければならない。第一日から第七日までの間に種を入れたパンを食べる者は、だれでもイスラエルから断ち切られるからである。」

過越しの祭りの七日間は、今でもユダヤ人はパン種を入れない種無しパン（マッツア）を食します。パン種は罪の象徴で、パン種がパン全体に影響して膨らむのと同じで罪も拡大する傾向を持っています。ですからまず過越しの祭りの前日にはパン種をすべて家から掃き出す大掃除をします。イエスさまが弟子たちに過越しの祭りの準備

に行かせたのも一つは客間のパン種を取り除くための大掃除でした。

コリント第一 5:6 ~8 「あなたがたの高慢は、よくないことです。あなたがたは、ほんのわずかのパン種が、粉のかたまり全体をふくらませることを知らないのですか。新しい粉のかたまりのままでいるために、古いパン種を取り除きなさい。あなたがたはパン種のないものだからです。私たちの過越の小羊キリストが、すでにほふられたからです。ですから、私たちは、古いパン種を用いたり、悪意と不正のパン種を用いたりしないで、パン種の入らない、純粋で真実なパンで、祭りをしようではありませんか。」

過越しの祭りに家中のパン種を残らずきれいに掃除するように、神の小羊なるイエス・キリストの恵みを受けたい人は、あなたの内側から罪を取り除きなさいと語られています。

過越しの祭りの食事であるセデル・プレートの上には、小羊のすねの骨があります。この骨は、神が小羊を用いてユダヤ人をエジプトから贖い出したことを意味します。イスラエルの人々がヨセフの時代にエジプトに行きました。ヨセフのおかげでエジプトは大変な飢饉から救われましたが、その後にユダヤ人たちはパロの奴隷となりました。モーセはユダヤ人を開放するようパロに頼みましたが、パロの心は頑なになり、モーセの言うことを聞き入れませんでした。そこで神は、エジプトに十の災いを起こし、最後の災いは最も大変なものでした。動物も人間も初子が死んだのです。その夜、初子が生き残れる方法はひとつしかありませんでした。神は人々に傷のない小羊をとって殺し、その血を鉢に注ぐようにと言われました。そしてヒソブを取り、血に浸し、家の入口の両側の柱とかもいの上にその血をつけなければならなかったのです。主はモーセとアロンに告げて言われ、「私はその血を見てあなた方のところを過ぎ越すだろう」と言われたのです。その最初の過越しの夜、神はエジプトに行かれたので、あちこちの家で初子が死にました。神の約束通り、信仰によって家の入り口に血をつけた家を神は過ぎ越され、その家には死がありませんでした。翌朝、イスラエルの民は全員、罪と死の象徴であるエジプトから脱出できたのです。

「見よ、世の罪を取り除く神の小羊」私達の罪を贖うものは、罪のない神の小羊なるイエスさまです。世の罪を取り除く神の小羊は、イスラエルだけではなく、この世のすべての民族を贖われました。出エジプト記のユダヤ人たちが信仰により、傷のない小羊の血を門柱とかもいにつけたのと同じように、私たちもまた、神の小羊の血である、イエス・キリストの十字架の血潮を取り、私たちの心と魂の入口につけようではありませんか。

ハレルヤ！神の小羊なるイエスさまが私たちにその尊い血を与え、私たちの罪をきよめてくださることを神様に心から感謝致します。

☆祈りのリクエスト☆

詩篇 122 : 6~9 「エルサレムの平和のために祈れ。『おまえを愛する人々が栄えるように。おまえの城壁のうちには、平和があるように。おまえの宮殿のうちには、繁栄があるように。』私の兄弟、私の友人のために、さあ、私は言おう。『おまえのうちに平和があるように。』私たちの神、主の家のために、私は、おまえの繁栄を求めよう。」

●アメリカのトランプ大統領がテルアビブにあるアメリカ大使館を、5月14日にエルサレムに置くことを宣言しました。エルサレムに平和がありますように。神様のご計画、主の御心だけになりますように。

●世界中の政治的指導者たちが救われて、神様からの正しい知恵と判断力が与えられ、神様の御心に従って政治を進めることが出来ますように。

箴言 8 : 12~17 「知恵であるわたしは分別を住みかとする。そこには知識と思慮とがある。主を恐れることは悪を憎むことである。わたしは高ぶりと、おごりと、悪の道と、ねじれたことばを憎む。摂理とすぐれた知性とはわたしのもの。わたしは分別であって、わたしには力がある。わたしによって、王たちは治め、君主たちは正義を制定する。わたしによって、支配者たちは支配する。高貴な人たちはすべて正義のさばきつかさ。わたしを愛する者を、わたしは愛する。わたしを熱心に捜す者は、わたしを見つける。」

●日本とイスラエルの友好関係がさらに深まり、日本がイスラエルを祝福する国となり、世界の平和の架け橋となりますように。

●日本のクリスチャンの霊的な目が開かれてユダヤ人伝道について正しく理解し、イスラエルの回復のために、神様の御心に従って祈っていくことが出来ますように。ユダヤ人伝道の重荷を持つ後継者たちがたくさん起こされますように。

●日本で多くのユダヤ人がイエス・キリストと出会い、救われますように。トラクトを用いてくださるように。

☆「聖地画ポストカード」宮本純子画 聖句入り7枚 ¥500円発売中！



一枚を一年がかりで、祈りをこめて描きました。ぜひお買い求めください。伝道に用いて頂ければ嬉しいです。

ご注文は、同封の振込用紙か

eternalloveisrael@gmail.com までメールを頂ければ感謝です。何卒よろしくお願い致します。

☆エターナル・ラブ・イスラエル決起集会のお知らせ☆



2018年4月1日(日)午後3時から5時

講師：ハナン・ルカス師

イスラエル・メシアニック・ジュー連合の議長。
ベテスタ・アッセンブリー教会牧師(イスラエル・ハイファ)

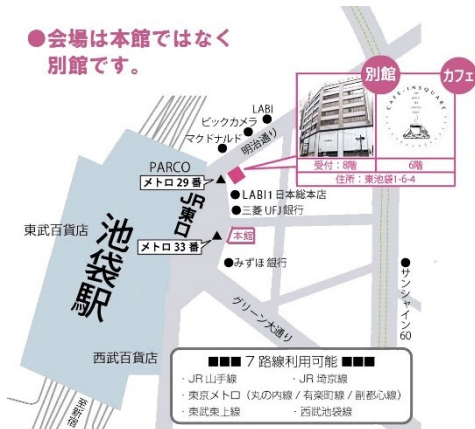
通訳：石井 秀和 師

「預言的視点から見た主の例祭(レビ記23章)」

☆参加費無料（席上献金あり）ぜひユダヤ人の方がおられたらお誘いください！

みなさまのご参加を心からお待ちしています！

☆会場：アットビジネスセンター池袋駅前別館603号室



〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-6-4

伊藤ビル 6F 603号室

■池袋駅（東口）より徒歩30秒

※池袋駅（東口）を出て「LABII 日本総本店」の左隣。建物のエントランスは、明治通沿（「ZARA」の入口を横切った右手）にあり、茶色の『会議室』の置き看板が出ています。

☆献金のお願い☆

エターナル・ラブ・イスラエルは、まったく何もない赤字からスタートしました！神様が建ててくださった働きなので、必ず必要を満たしてくださると信じています！ユダヤ人伝道は、とても大切な働きです！どうか再開したばかりのこの何もない小さな働きを覚えてください。お祈りとご支援、献金をどうぞよろしくお願い致します。捧げてくださるおひとりひとりの上に主の祝福が豊かにありますよう心からお祈り致します。すべてのことを神様に心から感謝致します。